

水の大切さ

聖心女子学院初等科

4年わり組

白戸

木^開女

「ジャー、ジャー」

朝起きた時、寝ぼけた頭で何も考えずに顔を洗っていたら、遠くからお母さんが、

「水を出しっぱなしで顔を洗っちゃだめよ！

も」 たいないじゃない！

と、おこった声が聞こえてきました。

水が貴重なもので、限りがあるものだとはも

ちろん分かっています。でも、実際にはじ

やをひねれば当たり前のように水が出てくる

から、正直、私にはその大切さがあまり感じ

られませんでした。そこで、水の大切さについて調

べてみることにしました。

私たちは日常生活で、飲み水や炊事、洗に

く、水洗トイレなどの他、飲食店や商業し

つ、会社などでたくさん水を生活用水とし

て使っていることがわかりました。他にも日

本では工場などで部品などの洗い^ようや冷き

やくななどのための「工業用水」や、お米をは
じめとする各種農作物を育てるための「農業
用水」など、いろいろな目的でたくさんの水
が使われています。日本では、これらの水は
空から降った雨や雪が源となっていて、降
水量の総量を体積で表すと、十年間で約六千
六百億立方メートル。数字だけを見てみると、
ばく大な水があるように思えますが、そのう
ち約二千三百億立方メートルは、じゃう発によ
り使用出来ません。また、残りの約四千三百

億立方メートルは、理ろん上は私たちが利用出
来る水ですが、日本の地形は急な場所が多く
て、河川が短く、さらに梅雨期や台風期に雨が
集中して降るため、ほとんどの水は使われる
ことなく、海に流れるなどしてしまいます。
だから、実際には約七百八十五億立方メー
トルしか使えません。そのため、雨が少ない年
には使うことが出来る水の量がさらに少なく
なり、全国各地で時々、水が起きています。
このように、水資源が豊かな日本でも私たち

の行動によっては、当たり前のように使えなくなってしまうのです。

私は校外学習で行った寒沢で飲んだ源流の水のことを思い出しました。ごく、とのを通った水が身体にしみわたって、飲んだし人間、おいしい！！
と叫んでしまっ、たくらい、水のありがたさと生きていろよろこびを感じました。地球はきせきの星と呼ばれています。それは、水があ

たから生物が誕生し、今も水がなければ全ての生物は死んでしまいます。つまり水は今も昔も欠かせないものなのです。私は水を守りたい。私がいま出来ることは何でしょう？
例えば、水を出しっぱなしにしない・食器をたくさん使わず、なるべく水を使用しないこと
が水を守ることになると思います。このよ
うな小さなつみ重ねが地球の未来を守ること
につながると思います。信じて行動していきます。